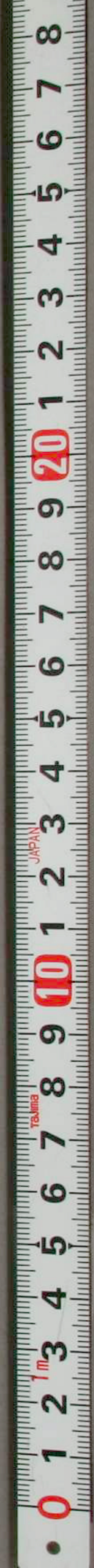


鳳流家治教
四卷

東京大学図書

東京大学図書

13
1622
4





風流字活粧政

付りるまねひの女房と

かき立てたの小治政

田之巻 目録

第一 夏の浮世の中宿れ女まが働と

あねとりのあね

持夜中づらけお世の門

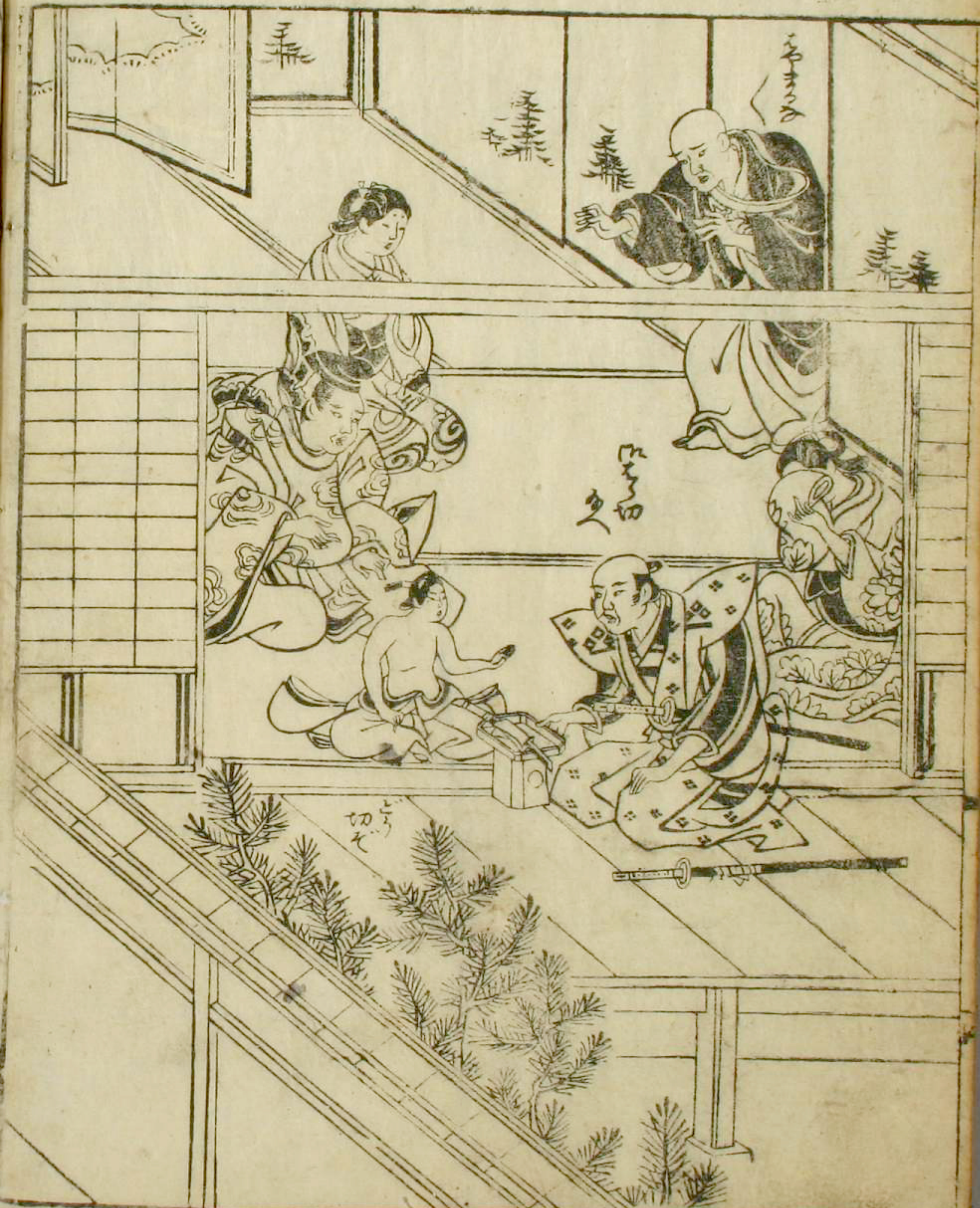
一冊の業花

あがれの男と女むじ

知子の死と報

お世の嘘いあ世の方後





多ていりて。病まわとて人あはまむがそれいふ事ありしついでい
なふまねとす。ては月明つきあかり天宮あまみやの意ゆへは、信しんの意ゆへは、信しんの意ゆへは、
その事くは、信しんの意ゆへは、信しんの意ゆへは、
切きり丹たんあり、ちあるの、ちあるの、
み代みしろやさうい事、おの奥おくついで、
のまゝいゆる、むつ、むつ、
ゆる、ゆる、ゆる、ゆる、

のまゝいゆる、むつ、むつ、
ゆる、ゆる、ゆる、ゆる、

二

秘結ひけつの意いは、
ゆる、ゆる、ゆる、ゆる、

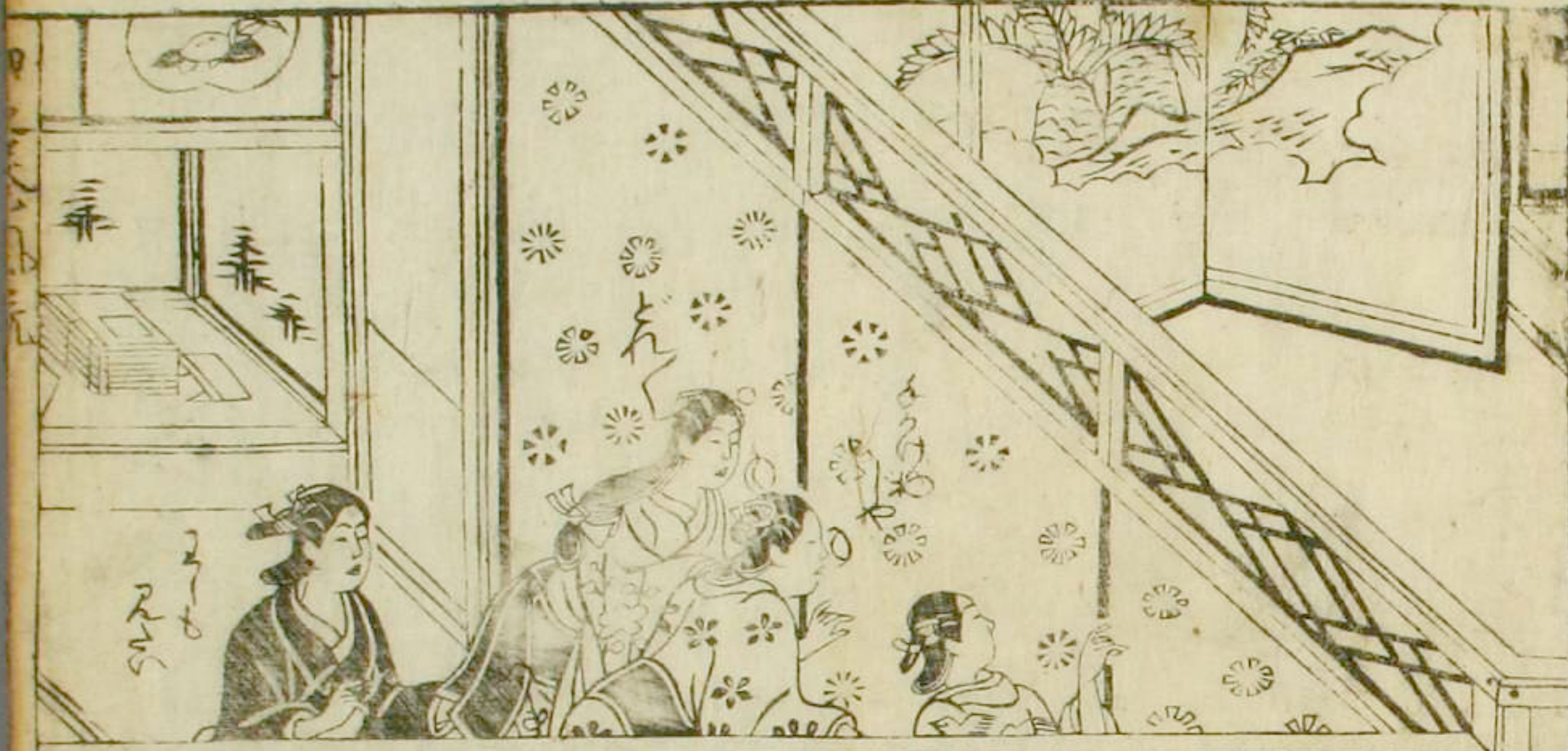
とまけと様さまのち、ゆる、ゆる、ゆる、ゆる、
ゆる、ゆる、ゆる、ゆる、
ゆる、ゆる、ゆる、ゆる、
ゆる、ゆる、ゆる、ゆる、
ゆる、ゆる、ゆる、ゆる、
ゆる、ゆる、ゆる、ゆる、
ゆる、ゆる、ゆる、ゆる、
ゆる、ゆる、ゆる、ゆる、
ゆる、ゆる、ゆる、ゆる、
ゆる、ゆる、ゆる、ゆる、

りかけておきし。女房の風をそよびわてわたりぬき、
されりるまでやまひかきせてやまひも別まりぬ。相いあつた田原
のみさぶらお徳のいりて君ちよこのちり。らんりあがり我る、
身とつひる有わる。物騒が子のほちま並徳く。それよ中ふか
のよ。女房とらんちりく。うくくけいせのぐらひよりぬとらう。わけ
くひふらと居る名の程。おあひらきると面白。けほりあぬ
西なれどもせよあのかとまてせひ。徳わしつする。そそそ。そそそ
ゆをゆき。おねがい。さ。に。ね。を。持。て。名。の。ら。い。と。そ。も。ゆ。き。い。ぬ
ご。く。埋。木。く。杉。果。て。お。さ。き。身。に。し。わ。ら。れ。ば。そ。ゆ。で。の。徳。と。せ。ひ
い。つ。て。し。よ。め。入。り。ま。し。け。う。く。い。お。ね。の。い。が。い。ぬ。P。と。ま。ん。と。ま。ま
神よりのま。ほりま。お。こ。は。く。あ。ゆ。く。へ。一。あ。な。に。そ。ら。神。を。い。に
て。お。ま。ん。と。そ。の。ふ。と。し。氣。た。り。よ。か。へ。縁。付。い。を。て。い。曲。も。な。れ。ぬ

伊さといわはらえしをまの見た徳がト屋敷先をへは徳せん
とそじりば枝とた多の徳のくお物作中居おうた。うくとおまや。
お徳なまのま。で。お。う。て。い。ん。ね。教。生。こ。ら。が。ま。に。し。是。が。あ。る。け。い
よりおへりまをねとがけんで。りやや。お。に。お。り。屋。敷。へ。入。り。り

三 さすが名をぬくまきり鬼船

女の氏まで。おの徳つき。い。つ。と。中。か。な。に。虎。の。も。ら。ま。き。そ。し。平。の
ふ。き。池。田。田。原。け。い。や。い。の。船。と。い。う。と。大。さ。あ。ら。び。あ。ら。ま。し。け。船。が
つ。つ。あ。つ。丸。裸。ま。ぬ。て。檀。の。浦。で。と。り。り。て。ま。つ。と。見。や。る。れ。耐。側。と
と。ま。し。船。を。い。は。い。あ。て。ら。も。い。同。東。に。り。て。ほ。あ。い。あ。り。か。な。古。田。の。縁
ち。の。い。ぬ。ぬ。か。か。あ。し。げ。い。ん。ま。車。と。と。ら。り。て。お。い。ぬ。牛。ご。ん。な。り
を。さ。つ。ら。と。吹。ち。や。の。大。さ。ま。だ。を。い。ぬ。尾。の。り。み。ら。ん。の。う。ん。か。ま。よ
田原の又。お。命。が。ほ。福。ま。り。屋。敷。が。あ。ら。う。と。い。い。ま。より。一。盃。を。て



位あらとあつて。毎すべ日ひお悔くやまのよつて。やうなまのんでお。はてとや
りてあははゆやのころかひまのころ。すうんくちあまのころと
おちと。その名なぬらままあまやて。おすんでゆら。こつやあまのころと
おの男おのの肌はだとられぬお中ちゆうのそよら。あふらこ人をわく事とあひま
あまあまとせよとやふお中ちゆうのあふら。そのはあふらとやうらこま
このお中ちゆう。又またの親おやごのいおあまひ。いんこのいあまひ。はかひのあ
まあまとておんあま。ままがあまあまひ。あまあまとてあまあまのあま。
あつていあまひてらとれ。あつてはあまとてらあま。ままらわと
あまへあまれの。あまあまとらあま。はあまとらあまあまとてらあまの
ままとてらあまとらあまひ。

四之巻終

